

令和元年度 大阪府立交野支援学校四條畷校 第3回学校運営協議会 報告

1. 日時・場所	令和2年2月7日(金)午前10時00分から12時00分・府立交野支援学校四條畷校 准校長室	
2. 出席者	【学校協議会委員】	
	高塚 良則	元大阪府立学校長
	田中 彰	四條畷市砂自治会長
	杉本 匡子	(社)るうてるホーム通所事業部長
	加藤 美朗	関西福祉科学大学准教授
	北口 信二	北河内障害者就労・生活支援センター長
	西田 由紀子	大阪府立交野支援学校四條畷校 PTA 会長
	【事務局】	
	准校長	赤木 瑞枝
	教頭	河上 鉄男 ※欠席
	教頭	若林 博行
	課長補佐	香西 朝夫 ※欠席
	首席・中学部主事	溝部 晃輔
	首席・高等部主事	村上 智則
	傍聴希望者なし	
3. 次第	(1)准校長あいさつ (2)学校教育自己診断アンケート 分析結果について (3)「令和元年度学校経営計画及び学校評価」達成状況 (4)「令和2年度学校経営計画及び学校評価」(案) (5)その他	
4. 報告	「学校教育自己診断アンケートについて」 准校長より概要について説明。 生徒アンケート・保護者アンケートともに概ね肯定的評価をいただいている。 生徒用では質問項目が難しい面があり、回答の「わからない」を減らす工夫が必要である。 保護者用では全24問中20問で肯定的な回答(以下に示す4つ以外では、否定的意見 C・D 合わせても10%以下)。一定学校に対して評価を得ていると考えられる。昨年より課題であった、Q16「緊急時の対応の共有」と Q19「授業参観の機会」については大きく改善されており、学校の取組に理解を示していただいている。半面、「施設設備の改善」・「ホームページの閲覧満足度」は、継続して対応していく。 教職員用では経営計画で重点目標とした、Q31「写真の管理を含む個人情報の管理」については、大きく肯定度を伸ばしている。また Q32「教育活動全般のPDCA」についても15%伸ばしており、引き続き学校全体でめざす学校像への取組を進めていきたい。課題としては「教員相互の授業見学」「初任者へのサポート」「学校運営への自分の意見の反映」等であり、抜本的な改革も含め検討を重ねていく。 学校としては今年度の課題を改善しながら、生徒の自立と社会参加をめざし、より信頼される学校をめざして取組を進めたい。	

「令和元年度学校経営計画及び学校評価」達成状況について

以下の5つの重点目標について、准校長より達成状況を説明。

- 1「積極的に社会に参画する意欲と態度を養う」
- 2「安全・安心のための校内体制の構築」
- 3「教員の専門性の向上と授業改善の工夫」
- 4「開かれた学校づくり・センター的機能の発揮」
- 5「学校組織づくり」

今年度の課題点をふまえて、次年度学校経営計画に反映させていきたい。

「令和2年度学校経営計画及び学校評価」(案)

今年度と大きく変わるわけではないが、新たに意識しているのは、新学習指導要領にある三つの力「コミュニケーション力」・「変化に対応できる力」・「考えて行動する力」を計画に取り入れた。教員も新学習指導要領についてさらに学びを深める必要があると思われるので、一年間学びながら専門性の向上を図る。また「主体的で対話的で深い学び」についても何が深い学びにつながるのか、教員が意識して授業づくりをすることで授業力の向上を目指していく。

准校長の説明の後、「めざす学校像」と「中期的目標」に関する質疑があり、内容について全会一致で確認・承認された。

委員よりの意見

高塚会長より、学校経営計画に出てくる文言について、より分かりやすく表記する必要性を述べられていた。そして、その内容について、いかに教職員全員がこれを意識して指導や授業を行うことが大切であるというお話であった。生徒用アンケートの結果については、(ご自身が若手教員の研究授業を指導されている経験から)授業の導入とまとめでしっかりねらいを伝え、生徒に授業のねらいを意識させるように進めてほしいとのことであった。

加藤委員からは、学校自己診断アンケートに触れ、次年度の学校経営について、授業見学等、今年度のマイナス項目を意識して取り組んでほしい。また主権者教育についてもなかなかむずかしいと思うが頑張ってもらいたい。また消費者教育等については出前授業等を活用して進めていく方法もあるとの言葉をいただいた。

北口委員は、地域の自立支援協議会では「学校でどんな学びをしてきたか」が卒業後に通う事業所にわかりにくいといったことが話題にあがる。今後に向けては、事業所と学校とが共同で研修を行ったり情報共有の場を設けたりするなどして、学校での学びが連続した学びにつながるように工夫できないものかといった提案があった。

杉本委員からは、(R1 学校評価を受けて)開かれた学校づくりが今年度だいぶ進んだと感じることだった。事業所としても、学校と同じ課題(「地域からみえない」「どんな活動をしているかわからない」)という点がある。学校と同じく、何をしているか外に広く発信していく必要がある。

田中委員からは、R2学校経営計画について目標と具体的な取り組みがリンクしないように感じる。「つながり」とは実習とか進路学習といった項目だけではなく、もっとコミュニケーション力とか普段の取り組みの項目があってもいいのでは、といった提言があった。

西田委員からは、今年度、より交流等が増えたことについて評価いただき、これからは来てもらうだけではなく、支援学校からどんどん外に出ていくようになってほしいですね、との話があった。またご自身が長年 PTA 会長をしてきた立場からは、この数年でいい学校になってきているように感じるとの言葉もいただいた。

今年度の会議は今回で終了。あわせて、今年度で学校協議会委員の2年間の任期がいったん終了となる。次年度以降については、是非継続をお願いしたいが、改めてご連絡させていただく。